

寺  
ごよみ

七 月

一日 お講・音沢(4)  
一六日 お講・中陣

永代祠堂会

七月十六日から、恒例の祠堂  
経がつとありますが、今年も次  
のような特別法要を勤修します  
ので、ご縁のある方は是非お参  
り下さいますように。

一六日昼一時 総代・白鰯会  
物故者法要

一七日昼一時 寺族物故者法要  
夜七時半夏の夜の公開  
講座

一八日昼一時 戦没者追弔法  
要

一九日昼一時 内陣法名法要  
満座

布教

一六・一七日 清胤弘英師

一七日夜 高務哲量師

一八・一九日

寺 報

善 巧

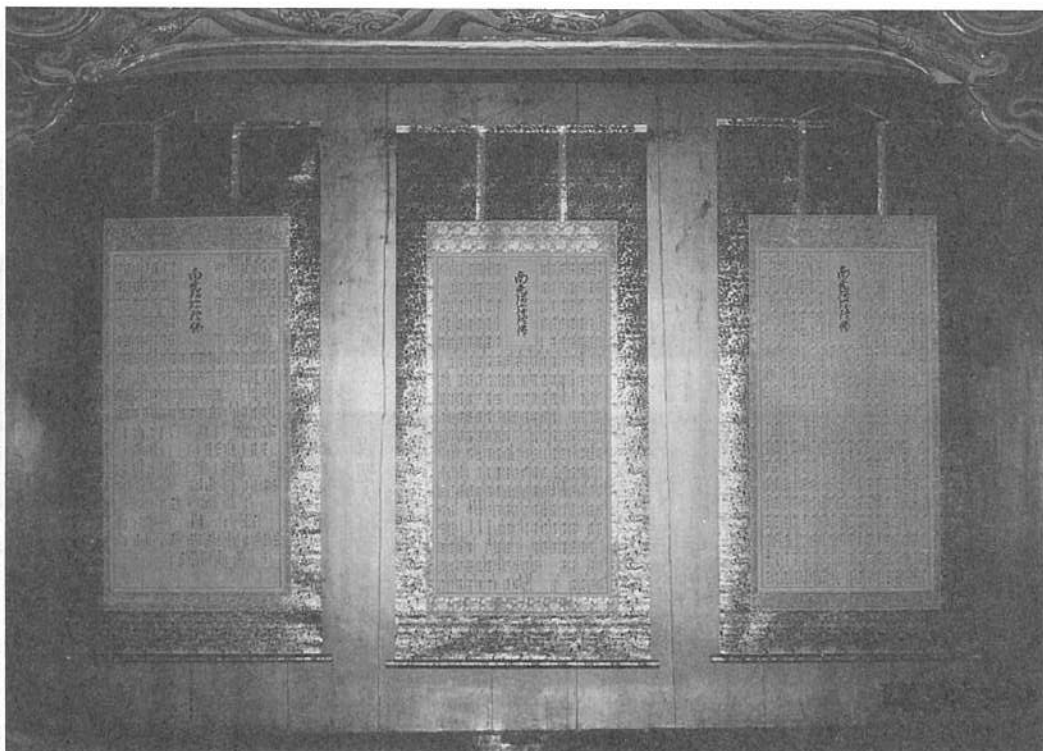
発 行  
〒 938 富山県下新川郡  
宇奈月町浦山 497  
白雪山 善 巧 寺  
T E L (0765) 65-0055  
F A X (0765) 65-0975

永代祠堂会

七月十六・十九日

布教

清胤弘英先生  
高務哲量先生



『阿弥陀経』に、お釈迦さまは、阿弥陀さまの尊さを讃えんとして、お弟子の舍利弗尊者にこのように問われました。「舍利弗よ、どう思うか。なに故に彼の極楽世界の仏さまが、『阿弥陀』と名のられたかを」と。  
問いつつ、自ら答えられます。「舍利弗よ、彼の仏さまの光明は無量であつて、十方の世界を照らしたもうに、いかなるものをも碍りとせず、いさとしいけるすべての人々に光りをとどけてゆかれる仏さまなのだ。故に『阿弥陀』(無量光仏)と名のられたのだ」と。  
一般に無量光の名は、仏さまご自身の、量り知れないさとり徳をあらわす名のりでありました。ところが『阿弥陀経』には、仏さまは、自身の光りを十方にあまねかせて、暗闇に生きる人々を碍りなく照らし、光りを共にするといわれたのです。  
すなわち、『無量光仏』とは、無量の人々と共に輝こうとされる仏さまだったので。人々が光り輝くことがなければ、自分も輝くことはないといわれたのです。たとえば、親子の間で、親だけがいくら幸せになつても、

無 量 光

一 共にかがやく

子どもが不幸な生活を送っているようならば、親は決して自分一人で幸せを感じることができないのと同じです。

そして、この仏さまは、南無阿弥陀仏のお念仏となつて無量光を実現されます。お念仏となつて人々の人生の「こま」にときどき、老いのなかに、病のなかに、そして死までをも「闇」とせず、「苦」とさせないとはたらかれるのでした。

だから老いのなかに光りが、病の上にも光りが、そして死までに光りがとどきます。生・老・病・死がむなしく終わらないのです。

生・老・病・死は無くなりませんが、その一々が、仏さまの光りを味わう場となれば、生・死は決して不幸ではなく、まさに輝く仏

道と転ぜられます。

念仏申すことは、阿弥陀さまがお念仏となられて、私の人生をご自分の生き場とされていることであり、私はお念仏によつて、仏さまの光りをうけて輝いてゆきます。お念仏を通して、仏さまと私が共にとけあつた世界が開かれてゆきます。

行信教校教授 天岸浄圓師



# 空 華 忌 講 話



行信教校講師

山 本 攝 師

## まことの信心

(その二)

慈信房善鸞は親鸞聖人ご自身  
がそれまでおうつしになって送っ  
ていらつしやったお手紙、いろ  
んなお書物、或いは先輩方のお  
聖教といったもの、そういった  
ものをみんな捨ててしまうとい  
うようなことになってしまふ。

更には、なんとご本願の第十八  
願をさへも、これをしほめる花  
に例えたという言葉がでてる  
んですね。

そういう風な事が続きまして  
とうとう親鸞聖人ご自身はもう  
この事態を收拾するためには、  
我が子である善鸞さまを思い切  
らざるをえない、ということに  
気がお付きになられたわけなん

は子供のしたことだから私は知  
らん、ともし私が言うてしまっ  
たら、あれはなんちゅう恥知ら  
ずな親やろう、我が子の恥を自  
分がちつとも責任とりませんと  
子供は子供や、知らんと言うと  
るぞ、あんな常識知らずな人間  
はきいたことがないというて、  
おそらく今現在でしたら人から  
非難されますでしょう。普通で  
したら、えらい私の不徳のいた  
すところでございます。申し訳  
ございません、と世間さまに向  
かって頭下げるのが、常識のあ  
る節度のある接し方だと言わな  
ければなりませんよね。

ところが、このお手紙の中で

親鸞聖人はね、不思議なことに  
そういうことは一切おつしやっ  
ていないんです。それどころか  
「誠の信心を定められてから後  
は、阿弥陀さまやお釈迦さまの  
ような仏さまが空いっぱいにで  
ていらつしやって、口々にあな  
たの信心はうそだ、あなたの如  
来さまの聞きようはうそだとおつ  
しやられても、一切私たちの私  
自身の信心の上には揺らぎよう  
がないんだ」ということをおつ  
しやいました。で、その後に「そ  
のように私たちは聴かせてもろ  
うてきたし、善導大師さまのお  
言葉をそのように私は受けとめ  
てきましたし、あなた方にもそ

う教えてまいりました」とおつ  
しやっている。その次すごいで  
すよ。「それであるのに、慈信  
房ほどの者の申すことにあなた  
方がまどわされてしまったとい  
うことはなんということですか」  
とかえってしかりつけてはるん  
です。おもしろい、おもしろいっ  
ちゅうかすごいことです、これ。  
私は今まであなた方が誠の信心  
があるという風に思っていました。  
また常日ごろからみな  
さん方が本当の信心をいただき、  
お念仏を申す方々であると思っ  
ておりました。しかしそれはみ  
なそれごとでした、うそだった  
んですねとおつしやる。

別のお手紙ですけれども一番最  
後にそうお書きになった後で、  
「あさましく候ふ、あさましく  
候ふ。」と二回書かれておられ  
るのであります。あさましいと  
いうのは現代の言葉のあさまし  
いとは少し違うんですね。もう  
私は言葉でいいようがないほど  
悲しくつらい思いをしておりま  
すよ、という風なことなんです  
うね。そして今のその性信房さ  
まにお書きになったお手紙には、  
慈信房ほどの者の申すことのた  
めにあなた方が惑わされてしま  
うたということは、これはいま  
までのあなた方の信心が、誠で  
なかったんですよ、とおつしや

る。そして今までのあなた方の  
ご信心が誠でなかったというこ  
とがこのような出来事でもって  
表面にはつきりと現れてきたと  
いうことが、よきことなり、と  
おつしやっているんです。素晴  
らしいことだとおつしやってい  
るんです。これみなさんよく味  
わってください、すごいことな  
んですよ。世間の常識だったら、  
私の違わした長男の不始末のた  
めにあなた方の宗教、あなた方  
のご信心というものを混乱させ  
てしまうてなんとという申し訳な  
いことをしたんでしようかとい  
うて頭下げて、お元気であつた  
ならば関東までとんでいつてあ  
やまらないかんような、そんな  
状況であつたはずなんです。

しかしねみなさん、親鸞聖人  
は決して傲慢で自分が偉ぶって  
そんなことをおつしやったとい  
うんじゃないんです。もちろん  
世間一般の道のことであつたな  
らば、親鸞聖人もそういう態度  
をとられたかもしれないけれど  
も、ことご信心をいただく、ご  
信心という道に関しては、もう  
それは親兄弟子供であらうとな  
んであらうと、みなこの私が如  
来さまの言葉を受けとめさせて  
いただくというその一点しか  
ないんです。

(次号につづく)



梯先生、天岸先生を中心に卒業生、教校生が一堂に会して厳肅な雰囲気での会談

# 第百回専精舎 夏講に団体参拝



ご門主を囲んで総長、校長、行信の先生方

専精舎 夏講第100回記念祝賀会

## 百年の



二十五日早朝托鉢に出る前校長の話  
を聞く学僧達



登校してこられた梯先生を囲んで

## 法脈 流れる なかで



通勤を急ぐ人もお布施をしていく姿  
に百年の伝統を感じる



常見寺本堂前で釈隆弘師の母上（二  
列目中）と俊隆もいっしょに



お布施する者法施するものお互いに  
拝みあう心

嵐の中の初まいり ようこそようこそ

4/23

岩崎 侑奈ちゃん  
川内 翼くん  
佐々木 瀬奈ちゃん

一高・智美さん夫妻  
一美・千位子さん夫妻  
秀人・由紀子さん夫妻



寿楽苑から ようこそようこそ



日曜学校のこどもたちも、OBGも、おとうさん、おかあさん、おじいちゃん、おばあちゃんもみんな生まれました





## 今年も野休み落語会

13日、宇奈月町・善巧寺で「六輔七転八倒」

柳家小三治さんらも参加

一六轉七転八倒野休み落陽  
會は十三日午後七時半から

入場料は二千円

永 六輔さん 柳家小三治さん 内海 好江さん



六月十三日、百ヶのちようちんの灯も賑々しく、第十八回野休み落語会が開催されました。小雨降るやや肌寒さを感じる中を開演二時間半前の夕五時、富山からのご夫婦がトップバッター。出足の早さに驚く余裕もなく、遠近各地から続々とお客様の列。

開演三十分前にはなんと五百人を超えてしまいました。その後も列はつづいて、今年も障子をとりはずす盛況となりました。お寺で生まれお寺で育った落語がこうして繁盛するのはうれしい限りです。

小三治さんなんて最後まで落語をやらずに、「きれいな花を見てきれいだなと思ってなんかこう幸せな心になるって大切なことだと思う。でも世の中大変なことでもいいっぱいあってあの阪神大震災が起っちゃった。テレビなんて半年もしないうちに忘れちゃって、今度はオウムだオウムだって騒いでる。ただの興味本位だよ。こないだベトナムに行ってね、決して人に逆らわないけれどねばり強い、争いを好まない人達です。……

みんなが優しいまなざしで花を見た時、きれいだなって思えるような暮らしをすることが一番いいような気がします。」なんてしみじみ語って拍手かっ采でした。

永六輔  
中海好江  
舟之白鳥  
提著



柳家小多けさんを  
囲んでかんばい！

雪を語る会、花の会、その他  
 もろもろ……スタッフの皆様  
 ことしもありがとう。おつかれ  
 さま！



太子会参拝の旅 4/11

国府別院、居多ヶ浜、五智国分寺など親鸞聖人のご旧跡。恵信尼様のご廟ごぶしの里や高田の瑞泉寺におまいりました。



初参りを前に清掃奉仕 4/16

美しくお掃除をして初参りを迎えようと、こんなに沢山の総代さん、白鶴会の方々がご奉仕くださいました。只々感謝です。



今年も専精舎がやってきた。「専精舎」とは、行信教校を開かれた専精院専妙和上の「専精院」からとった名で、年に一度行信教校に縁のあった者が集まって開かれる行事だ。

行事の内容は、勤行が朝、昼、夕の三回。午前中には、副講、本講、会読。午後は科外講演、夜はOBの方の法話。今年は百回記念であったので、最終日にはご門主のお話もあった。午前中にある「会読」。これが独特の勉強方法で、学生にとってはかなりきついものだ。もともと、四年五年とここで勉強している方にとってはおもしろいもの

しい。皆、目が輝いている。(僕の目が輝くのはいつだろうか?)

真ん中に「判者」と呼ばれる方が座り、最後に「決判」を下される。次に、「問者」と「答者」。両側に学生がずらりと並ぶ。新入生は下座の方に座り、二年生三年生、と順に並んでいく。一番上の方には先生方も座られる。以前僕は、「行信教校の先生は教えているというより、共に勉



若院雑感

強しているという感じを受ける」と書いた事があったが、この「会読」でもそのように思った。もちろん知識量や理解度、味わいなどは比較にならないだろうが、そんな先生方も学生と同じ場に座って一緒に勉強するというのは、なにかとてもうれしい気持ちになる。この「会読」では、一つの論題に対して「問者」が問い、それに「答者」が答

えて、進められる。今まで仏教を学んできて、AとBと覚えていたものを、なぜAがBになるのか、というふうに問われる。当たり前の事だと思っていたものが、いざ問われると、実はわかっていないことが多々ある。そういえば今年は善巧寺から一泊二日で来て下さった。野島重一・はつえさん、藤沢深さん、樋口治美さん、田中まつえさん、松島としえさん、八木英雄さん、高島有哲・祥子さん、神子巧さん。ようこそ大阪へ、専精者で会えてうれしかったです。

第18回 花まつり

花まつりは、人生の楽しみや喜びを味わって、明るく心豊かな生活を送ることを目指して行われる行事です。皆様のご参加を、お待ちしております。

雪ん子劇団公演

手話ミュージカル「うちのとうちゃん えらいんだ」ほか

日時 5月13日(土)

午後1時 白鳥行達・花まつり祝賀式典  
午後1時45分 雪ん子劇団公演

場所 小杉町文化ホール・ラポール(役場前)

主催 小杉町仏教連合会  
小杉町花祭り実行会  
協賛 北日本新聞社

5/13小杉町仏教団では初めての試み、文化センターラポールでの花まつりに雪ん子が一役かいました。



雪ん子シアを支える会発足 6/5

昨年十一月二日、「しあわせ色の青い空」で感動的な旗揚げをした雪ん子シアですが、年末のチャリティショーでは、地元でも大きな反響をよびました。魚津の小学校から、全校生徒で是非ということ、八月十日午前中に一回、夜は自主公演と、二回の公演を新川文化ホールで行うことになりました。この活躍ぶりを見たお母さん達がバツクアップをしようと立ち上がり、六月五日夜、雪ん子シアを支える会が発足しました。まずは月々会費を集めて、それを何かに役立ててほしいということです。が、何とも力強い嬉しい応援団ではありませんか。

青梅のちらほら見えて  
梅雨はれま  
喜子



おそ咲きの朱色のつつじ  
咲き続く  
俊之

# 善巧寺全門徒のご先祖のご法事・しどうきょう 永代祠堂会に必ずおまいりを

七月十六、十九日

今年も七月十六日から四日 間永代祠堂会がつとまります。

お寺を護る門徒の皆さん全員

のご先祖のご法事です。毎日 特別法要がつとまりますので、 必ずおまいりください。

総代会・白鵠会物故者法要

七月十六日午後一時

亡くなられた総代さんのご 家族と元・現総代さん。白鵠 会物故者のご家族と白鵠会々 員は是非お参り下さい。

寺族物故者法要

七月十七日午後一時

善巧寺、法輪寺、照行寺の

物故者法要をつとめます。

公開講座

七月十七日午後七時半

仏教のお話を一般の方にも わかり易くお話いただきます。 若い方もおさそいください。

戦没者追弔法要

七月十八日午後一時

戦没者のご遺族の方は是非 おまいり下さいますように。

内陣法名法要

七月十九日午後一時

お満座は内陣法名法要をつ とめます。特別懇志志納者の 内陣焼香があります。

講 師



十六・十七日  
広島・正覚寺  
清胤弘英先生



十八・十九日  
福井・千福寺  
高務哲量先生

公開講座 七月十七日夜七時半

夏の夜 わが心をみつめよう

講師 高務哲量先生

仏教は私たちに何を教えて いるのか、親鸞聖人は私たち に何を伝えて下さっているの

か、どうか聞いて下さい。 今こそ私たちは本気で聞か ねばなりません。

## 清掃奉仕おねがい

七月二日朝 八時

恒例の永代祠堂会もまもなく ですが、みなさまに気持ちよく おまいりいただく為に清掃奉仕 をお願いします。どうぞ協力 ください。

## 盆会青年の集い

八月十三日 夜

成人をお祝いして青年たちが 集う青年盆会。式典は音楽法要 集いのパーティは門徒会館で。 中学生以上の青年たちをおさそ い下さい。

## こども盆おどり大会

八月十五日 夕

あみださまに見守られ、太い ちようの下でちようちんつって こども盆踊り：も十九回目。さ あさ、みんないらつしやい。み ないつしよに踊りましょう。

## 盆会

八月十六日十時

お盆のおつとめをいたします。 法話は若院が。どうぞお参り下 さい。

## 院号冥加金改訂

院号申請の冥加金が十月より 改正されます。現在、十五 万円以上が、二十万円以上と なります。ご希望の方は早目 にお申込みを。

## 雪ん子シニア

### 新川文化ホール公演

八月十日 夕七時開演

『しあわせ色の青い空』二幕 入場料千円（学割八〇〇円） お問合せは雪ん子劇団へ。

## 雪ん子劇団十五周年記念

### 夏の公演 中央公民館

八月二十六日 夕六時半

雪ん子劇団・雪ん子シニア・ 親の会オールスターキャストに よる記念公演。めったに見れま せん。どうぞどうぞ。入場無料

## 仏婦研修会

九月一日・九月十八日

仏参・お作法・ビデオ鑑賞 しばらくお休みしてました が、九月はお講もありませんの で、ビデオ鑑賞をいたします。 浄土真宗のお作法も基本からお さらいしましょう。

## 合 掌

「ストレスたまつてるから、 行ってもいい？」六月十六日夜 中学生の雪ん子シニアが二人やっ てきました。男先生のお月忌の お勤めに参列したあと、会館で 大きな声をはり上げて発声練習 をしていました。なんだかうれ しくなりました。

◇ ◇ ◇

夕刊フジ新聞社の小泉良夫さ んからお便りが届きました。 「ニューオルリンズにいます。 外輪蒸気船のショーボートに乗っ てジャズナイトクルーズ。『ペー シン・ストリート・ブルース』 をリクエストしたらお客がわつ と沸きました。あとは雪山さん を思い出して涙、涙です。雪 山さんが夕刊フジをやめた時こ れ僕が一番好きな曲だから聞いて よとももらったLPの中の一曲。 まさかミシシッピの川のうえ、 夕闇の中の船上で聞くなんて。 雪山さんが導いているんだ、きつ と。」

楽しくゆかいなお便りに、思 わず隆弘の明かるさを思い出し ました。

あじさいの咲きはじめる頃、 一人でジャズを聞きましようか。

